

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.83
2024.SPRING

徳大病院だより

特集

肺がんの手術について

■CLOSE UP

安全管理部について

■徳大病院ニュース

- ・令和6年能登半島地震の被災地へDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣しました
- ・徳島大学病院フォーラム2024春を開催しました

■tokudai-staff information



肺がんの手術 について

肺は心臓と同じく生命維持に直接関わる重要な臓器です。そのような場所にがんができると、呼吸に障害が生じ、命に危険が及びます。今回は、肺がんとその手術について、呼吸器外科の滝沢診療科長にお話を伺いました。

肺がんとは

肺がんは、肺を構成する肺胞や気管支の細胞ががん化して発生します。原因にはタバコその他、アスベストなどの化学物質の吸入もありますが、原因がはっきりとしないものも多くあります。肺がんの症状は、咳・血痰・息苦しいなどといったものがありますが、それらは病気が進行してから現れます。早期発見には、CT検

査や喀痰細胞診などが役立ちますので、心配な方は検診や人間ドックを受けることをお勧めします。



■説明は
徳島大学病院
呼吸器外科 診療科長
滝沢 宏光
(たきざわ ひろみつ)

■お問い合わせ先
外科外来
Tel: 088-633-7136

患者さんへ ひとこと

肺がん手術は日々進歩しています。これからも患者さんにとって、より負担が少なく精度の高い治療の提供に尽力してまいります。

肺がん手術の適用条件など

肺がんに対する手術は、がんを完全に取りきることを目標とした治療です。肺がんのステージ(病期)はⅠ期からⅣ期までであり、そのうちⅠ期からⅢA期が手術の対象となります。ⅢB期以上は手術では取り切れないがんであるため、放射線治療や薬物治療が治療の中心となります。手術の対象となる患者さんでも、やや進行したステージの場合、手術だけでなく薬物治療も併用するのが一般的です。また、手術実施の条件には、がんのス

テージの他に「手術に耐えられること」も必要です。心臓や肺の機能に十分な余力があることも、手術を決める上で大切な要素になってきます。

徳島大学病院では手術を行う呼吸器外科、薬物療法を行う呼吸器・膠原病内科、放射線治療を行う放射線科のメンバー全員が治療方針を討議する「呼吸器合同カンファレンス」が毎週開催されていて、個々の患者さんに合った治療を決定し、連携しながら治療にあたっています。

より負担の少ない手術へ

肺がん手術は、傷が小さく、身体への負担が少ない胸腔鏡手術が主流となっています。ロボット支援手術も胸腔鏡手術の一種であり、現在保険適用となっているため、本院でも積極的に実施しています。

また近年、がんの大きさに合わせて、肺の切除範囲もで

きるだけ小さくする、という考えが主流になってきました。従来の主流であった肺葉切除から、切除範囲を小さくする区域切除または部分切除を行うことで、できる限り肺機能を残し、患者さんの負担を少なくしようとする「積極的な縮小手術」が本院でも多くなってきています。

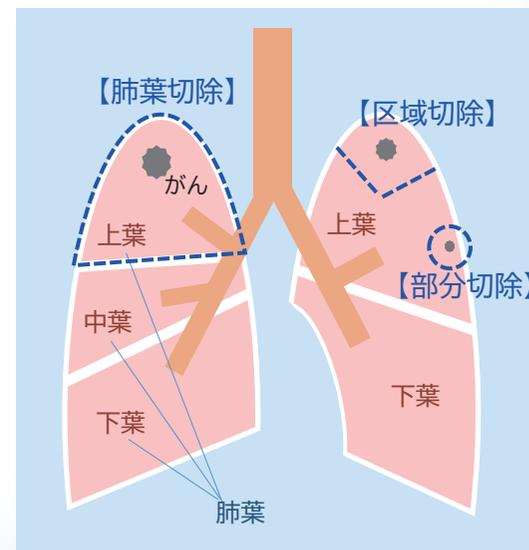
正確な手術を目指して

縮小手術の件数は増えていますが、小さながんを小さな切除範囲に正確に捉えることが求められるようになってきました。呼吸器外科では、外科医の技術向上に努めることはもちろんのこと、立体CT画像を用いて綿密な術前プランニングを行い、がんの術中マーキン

グ法を工夫するなどして、正確な縮小手術を行うことができるよう日々努めております。



手術支援ロボットを用いた肺がん手術のトレーニング



(図) 肺がん手術の切除範囲

CLOSE UP!



安全管理部について

徳島大学病院のような高度医療を担う特定機能病院には、その承認要件として院内の医療安全管理を専従で行う医師・看護師等を配置することが定められています。今回は本院において医療安全を推進する安全管理部について、部長の池本教授にお話を伺いました。

○ 安全管理部について

患者さんが病院や医療に対し、安全を求めることは至極当然のことです。徳島大学病院では患者さんはもとより、院内で働く職員の安全も担保するため、病院長をはじめとするリスクマネジメント体制の実働部隊として、安全管理が業務(右一覧参照)を行っています。安全管理部のスタッフは医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士や事務職員と、多職種で構成されています。現場の声を積極的に取り入れ、現場の状況と乖離しないことを念頭に、医療安全管理の推進や、そのためのシステム作りを行っています。

【徳島大学病院安全管理部の主な業務】

- 医療安全体制の整備
- 医療安全に関する考え方・方策についての職員への周知・研修
- インシデント事例の収集・分析と再発防止策の立案・検証
- 発生した医療事故等発生時の患者・医療者双方への支援
- 発生した医療事故等の原因究明、再発防止
- 高難度新規医療技術や未承認新規医薬品を用いた医療提供の事前審査と実施状況の検証
- インフォームドコンセントの適正な実施体制の整備
- クオリティインディケーター(QI)の計測・考察、及びその公表

○ 「世界患者安全の日」の取り組み

毎年9月17日は、患者安全の促進について、人々の意識・関心を高め、理解を深めることを目的に世界保健機構(WHO)により、「世界患者安全の日」と制定されています。徳島大学病院安全管理部では、令和5年9月15日に「世界患者安全の日」の周知イベントを初めて行いました。

イベントでは、テーマカラーのオレンジを用いて、徳島大学交響楽団によるミニコンサートや、徳島大学公式マスコット・

とくぼんの日安全管理部長就任、徳島県などと協同したライトアップなどを実施しました。イベントに参加された患者さんの中には「安全管理部」について初めて聞かれたという方も多く見られましたが、医療安全とは何か、ということを知っていただくよいきっかけとなったようです。

また、医療従事者のみならず、患者さんにもご自身の安全のために治療に積極的に参加いただくことは大切です。

患者さんへひとこと

直接患者さんに治療を行う部署ではありませんが、より安全・安心な医療提供のために医療従事者自身が一丸となってそのような活動をおこなっていることを知っていただければと思います。

また、患者さんもご自身の医療の安全のために、治療の際の氏名確認にご協力いただくなど、医療に対する積極的なご参加をお願いします。

■説明は
徳島大学病院
安全管理部
教授・部長
池本 哲也
(いけもと てつや)



患者さんが治療内容を十分理解することによって防げる事故もあります。安全管理部では、来年度以降もこのアクションを周知するために「世界患者安全の日」の周知イベントを企画する予定です。



「世界患者安全の日」イベントの様子

○ 今後の活動について

安全管理部では、業務の一つとして、日々の診療の中で起こっているインシデントを収集しています。インシデントは重大な事故に至る前の医療上のエラーで、「ヒヤリ・ハット」も含まれます。医療は安全でなければなりません、どうしてもエラーが発生してしまうことがあります。しかし、それを未然に防ぐようなシステム作りや、仮に起きてしまった場合でも患者さんへの影響が最小限のものとなるようインシデントの原因分析や改善を行うためには職員からのインシデント報告は不可欠で、報告件数が少ない程良いというものではありません。本院では報告件数をさらに

増やすこと、医師・歯科医師からの報告割合を増やすことが課題となっています。安全管理部では、インシデント報告の必要性の周知はもちろん、報告がしやすい雰囲気づくりなどによって、より安心・安全の医療の推進に努めていきます。

また、安全管理部では、地域の医療機関に対し、医療安全に関する講演を行うなどの活動を行っています。また、県内唯一の特定機能病院として他院の手本となるような活動をしていければと考えています。

徳大病院ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

TOKUDAI BYOUIN NEWS

令和6年能登半島地震の被災地へDMAT (災害派遣医療チーム) を派遣しました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地へ、徳島大学病院よりDMAT (災害派遣医療チーム) (医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床工学技士1名) が派遣されました。本DMATは1月11日に本院を出発、翌12日より避難所や被災地の診療所などでの医療支援を行い、1月18日に無事帰院しました。

帰院後の病院運営会議では、被災地域の現状や今後の課題などの報告を終えたDMATメンバーに香美病院長よりねぎらいの言葉がかけられました。



帰院直後のDMATメンバー

徳島大学病院フォーラム2024春を開催しました

令和6年3月3日、徳島大学蔵本キャンパス内の大塚講堂において市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2024春」を開催しました。今回は「ゲノム情報を活用して健康で長生き」と「がん～ここまできた最新治療～」と題した2部構成で実施しました。

約350人の参加者の方々は、本院の第一線で働く専門医の話に熱心に耳を傾けておられ、本フォーラムは盛況のうちに終了することができました。

また、本フォーラムの様子は、ケーブルテレビでも放送されますので、是非ご覧ください。

■テレビクシマ (111チャンネル) 放送予定

前編 4/8(月)・10(水)・15(月)・17(水)
後編 4/9(火)・11(木)・16(火)・18(木)

※時間はいずれも 13:00~15:00



tokudai-staff information

新任のごあいさつ



安全管理部
教授・部長

池本 哲也

(いけもとてつや)

令和5年12月1日付けで安全管理部・教授を拝命いたしました。私は平成10年に徳島大学を卒業し、徳島大学病院および関連施設で消化器外科(肝胆膵外科)の修練を積んだのち、令和3年から特定機能病院の承認要件である医療安全管理担当医師(専従)として活動しております。医療はますます高難度化しており、患者さんの安全を確実なものとするのが強く求められています。これまでに私が臨床で培ってきた経験と患者さんへの想いをもとに、よりよい医療の実現を目指して全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 肺がん
- 腎細胞がん
- 肝細胞がん
- 筋層浸潤性膀胱がん
- 乳がん
- 食道がん
- 尿路上皮がん
- 筋萎縮性側索硬化症
- 急性冠症候群
- 心性浮腫(うっ血性心不全)
- 統合失調症
- 間質性膀胱炎
- ALアミロイドーシス
- 金属パネルアレルゲン
- 原発性IgA腎症

ご協力をお願いします。



問合せ: 総合臨床研究センター
tel.088-633-9294

徳島新聞 デジタル版

地域の話やできごと 国内外の重要ニュース

あなたの「知りたい」に、こたえる

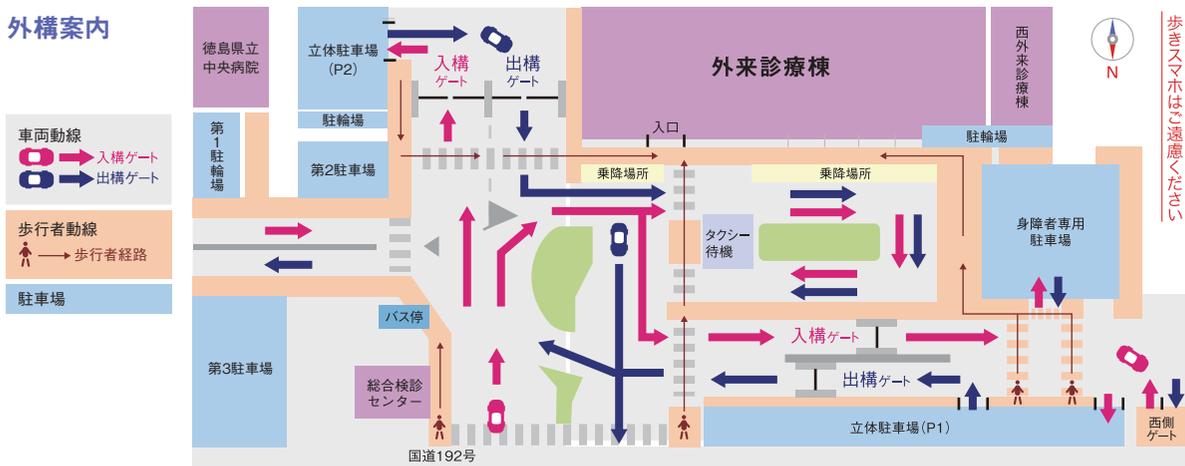
単独ライトプラン 月額 980円



詳しくはこちら



外構案内



各相談室・検査の連絡先

- 患者支援センター [総合相談、難病・てんかん・高次脳機能障害相談]
Tel / 088-633-9107 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- がん相談
Tel / 088-633-9438 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 緩和ケア相談
Tel / 088-633-7457 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 肝疾患相談
Tel / 088-633-9002 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 脳卒中・心臓病等に関するご相談
Tel / 088-618-0171 (8:30 ~ 17:00 (休診日除く))
- 遺伝カウンセリング
Tel / 088-633-9218 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- セカンドオピニオン
Tel / 088-633-9654 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))
- 総合臨床研究センター [治験]
Tel / 088-633-9294 (9:00 ~ 17:00 (休診日除く))

徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

- 寄付者のご芳名 ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。
※2023/11/1~2024/1/31時点(順不同)
土内 彰様 矢野 カル子様 中野 稔様 谷川 弘子様 楠本 正志様 植村 新様 上山 覚様
- お申し込み状況 総件数：23件 総額：3,970,000円
※2023/4/1~2024/1/31時点
- お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。
- お問い合わせ 経理調達課経理・管理係
(月~金8:30~17:00) Tel / 088-633-7016



徳島大学病院

Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者	病院長 香美 祥二			
編集部長	石澤 啓介			
広報委員会	湯本 浩通	原田 雅史	滝沢 宏光	板東 美香
委員	藤井 志朗	久保 亜貴子	大川 敏永	桐野 靖
	武川 香織	横田 三樹	原田 直樹	金子 由起
	榎本 清美	吉平 祐子	藤原 慶一	田木 真和
事務担当	総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697			